

# ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 <b>ナノデス・アキュドライブⅣ</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.464</b>	△RG <b>0.050</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：ナノデス・アキュドライブⅣ**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ

**比較対照ボール：ナノデス・アキュドライブⅡ**

フレアーの幅  インチ

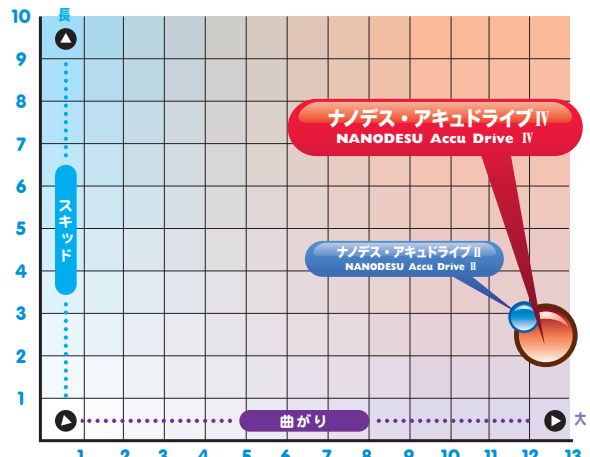
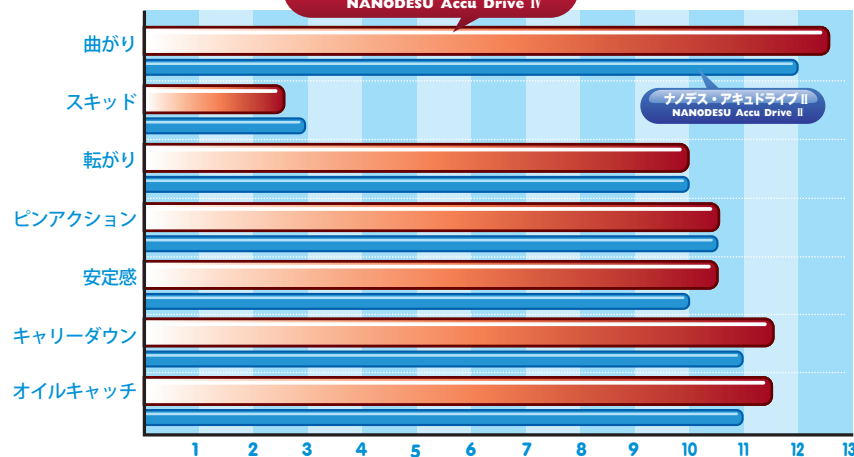
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ

**ナノデス・アキュドライブⅣ**  
NANODESU Accu Drive IV



## ボールの評価

常に進化を求め、新しいテクノロジーを組み込むことをコンセプトに開発されるNanodesu Accuシリーズ。それはAccu-RiseシリーズからAccu-Driveシリーズも含め、これからも変わることはありません。今回のAccu-Drive4は、皆様からの多くの要望に応えるため、アマチュアボウラーからプロボウラーまで使用頻度が高いAccu-Drive2をベースにカバーストックを調整し、キャッチと全体的な曲がり幅をさらにアップグレードさせて発売いたします。今回のAccu-Drive4に搭載されているInfinity Coreは、Accu-Drive2で立証されたように中盤から後半にかけてパワーが発揮されバックエンドでフリップ感を得られる運動性能で、そのコアにUG Nano-Thane 3.0 Pearlカバーストックを搭載することでスキッドとキャッチのバランスを再調整しました。コアはそのままに、カバーストックを同じUGのPearlでもレベルを上げることで全体的なオイルキャッチを強化させ、Accu-Drive2よりも曲がりはじめをやや早め、安定感とともに俊敏さを残すことをコンセプトとしました。

比較投球するとカバーストックの強さの差はボールの立ち上がり方に変化を感じ、Accu-Drive4のほうがオイルに対しての安定感が増しているのがわかります。私のイメージでは先で強くピンをたたくAccu-Drive2か、中盤から動きの強さを特徴とするAccu-Drive4かの違いを感じますが、Accu-Drive2からより安定感が増し、奥の動きもAccu-Drive2を彷彿させるほどに仕上がっているので、このボールも多くの方々に気に入って使用していただければ幸いです。

## 特記事項

**Accu-Drive2のコアをそのまま使用し、カバーストックを1ランクアップさせて安定感と奥の動き双方を導き出す性能を求めました。**